

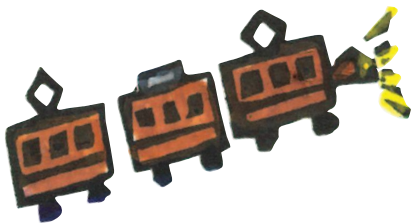
まちの未来計画

岡垣町 第6次
総合計画

OKAGAKI TOWN MASTER PLAN 2021-2030

しあわせ
実感都市
岡垣

自然と
共生する



岡垣町は、海や山などの美しい自然環境に恵まれており、その自然からもたらされる地下水85%のおいしい水道水が町の魅力の一つです。自然豊かな一方で、町内にはJR鹿児島本線、国道3号、国道495号と交通の主要幹線が通り、福岡市や北九州市などの都市圏への交通アクセスが良い町です。このような自然の豊かさと暮らしやすさから、1960年代頃から宅地開発が進み、人口は順調に増加してきましたが、2010年を境に緩やかな減少傾向に転じています。



全国の多くの自治体では、人口減少・少子高齢化が本格化し、医療・年金・介護などの社会保障制度に大きな影響が出てくることが懸念されています。岡垣町においても人口減少・少子高齢化は待ったなしの課題です。そのような中でも、持続できる社会を形成し、引き続き住民の皆様から住みやすいと評価されるまちづくりを進めていくことが重要です。

岡垣町では、新たな10年に向け、「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」を将来像に掲げ、まちの未来計画（岡垣町第6次総合計画）を策定いたしました。

本計画では、豊かな自然によりもたらされるおいしい水、食の恵み、住民のふれあいなどの「岡垣らしい しあわせ」を守り育てることで、住民一人ひとりがしあわせや住み良さを実感できる町を目指し、「自然を守り、活かし交流を生むまち」「地域資源を活かし発展するまち」「人・つながりが育つまち」「誰もが元気で自分らしく暮らせるまち」「安全・快適に暮らせる持続可能なまち」の5つの基本目標をもとにまちづくりを推進します。

私は、これらのまちづくりを推進するためには、行政だけではなく、住民・団体・企業などのさまざまな主体が、それぞれの個性を発揮し、協働することが必要であると考えます。今後も住民の皆様のご支援とまちづくりへの積極的な参画をお願いいたします。

令和3年3月 岡垣町長 門司晋



序論

第1章 総合計画策定について	2
1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の期間・構成	2
第2章 計画の背景	3
1. 本町の現状	3
2. 本町を取り巻く社会情勢の変化	10
3. 各種アンケートからみた分析	15

将来ビジョン

1. 目指すまちの将来像	22
2. 将来の人口フレーム	23
3. 将来像を実現するための5つの基本目標	24
4. 施策の体系	26
5. 将来像の実現に向けた「協働のまちづくり」の推進	28
6. 重点テーマ	30

基本目標別施策

基本目標1 自然を守り、活かし交流を生むまち	34
1-1 豊かな自然を守り、育てる	34
1-2 おいしい水、きれいなまちを守る	36
1-3 地域から地球温暖化を防止する	38
基本目標2 地域資源を活かし発展するまち	40
2-1 農業・漁業を守り、育てる	40
2-2 商工業を支援し、地域経済を活性化する	42
2-3 地域資源を活かした観光を推進する	44
基本目標3 人・つながりが育つまち	46
3-1 安心して子育てができるまちをつくる	46
3-2 未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる	48
3-3 住民がともに学び、ふれあうまちをつくる	50
基本目標4 誰もが元気で自分らしく暮らせるまち	52
4-1 住民が健康で暮らせるまちをつくる	52
4-2 誰もが安心して暮らせるまちをつくる	54
4-3 互いに支えあい、ともに歩むまちをつくる	56
基本目標5 安全・快適に暮らせる持続可能なまち	58
5-1 成熟した都市の再生を推進する	58
5-2 安全で便利な都市基盤をつくる	60
5-3 災害から住民を守る	62
5-4 犯罪・事故から住民を守る	64
計画推進の基盤	66
1 住民とともにまちづくり活動を広げる	66
2 社会変化に対応した行財政運営を推進する	68